



2020年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社キングジム 上場取引所 東
 コード番号 7962 URL https://www.kingjim.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883
 定時株主総会開催予定日 2020年9月17日 配当支払開始予定日 2020年9月18日
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月17日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期の連結業績(2019年6月21日~2020年6月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	33,455	△2.5	1,232	△11.6	1,489	△9.0	1,081	12.3
2019年6月期	34,329	△1.3	1,395	△27.1	1,636	△21.6	963	△31.4

(注) 包括利益 2020年6月期 948百万円(75.7%) 2019年6月期 539百万円(△67.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	38.06	37.88	5.0	5.5	3.7
2019年6月期	33.88	33.75	4.5	6.2	4.1

(参考) 持分法投資損益 2020年6月期 ー百万円 2019年6月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	28,051	21,910	77.7	766.82
2019年6月期	26,132	21,334	81.3	747.47

(参考) 自己資本 2020年6月期 21,794百万円 2019年6月期 21,244百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	1,989	△1,357	456	5,410
2019年6月期	1,323	△504	△900	4,368

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期	ー	7.00	ー	7.00	14.00	397	41.3	1.9
2020年6月期	ー	7.00	ー	10.00	17.00	483	44.7	2.2
2021年6月期(予想)	ー	7.00	ー	10.00	17.00		46.9	

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年6月21日~2021年6月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	4.6	120	11.1	270	5.5	180	12.3	6.33
通期	35,000	4.6	1,270	3.0	1,490	0.0	1,030	△4.8	36.24

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期	32,459,692株	2019年6月期	32,459,692株
② 期末自己株式数	2020年6月期	4,037,479株	2019年6月期	4,037,227株
③ 期中平均株式数	2020年6月期	28,422,372株	2019年6月期	28,422,465株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年6月期の個別業績（2019年6月21日～2020年6月20日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	25,421	△0.3	1,117	1.4	1,306	1.7	965	—
2019年6月期	25,489	△1.6	1,101	△31.4	1,284	△27.5	△465	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年6月期	33.96		33.79					
2019年6月期	△16.37		—					

(注) 2019年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	23,438	19,136	81.2	669.46
2019年6月期	21,820	18,634	85.0	652.48

(参考) 自己資本 2020年6月期 19,027百万円 2019年6月期 18,545百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化しており、先行きについても極めて厳しい状況が続くと見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは感染予防策をとることでお客様や従業員の安全を図りつつ、新たな需要を獲得できるように積極的な新製品投入を行いました。

この結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は 334億5,527万円（前連結会計年度比 2.5%減）となりました。利益面では、売上高の減少により、販売費および一般管理費率が前期に比べて上昇したため、営業利益は 12億3,259万円（前連結会計年度比 11.6%減）、経常利益は 14億8,944万円（前連結会計年度比 9.0%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に過年度法人税等を計上したことにより、当期は前期に比べると法人税負担が減少し 10億8,167万円（前連結会計年度比 12.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

・文具事務用品事業

ステーションナリーにおきましては、2015年の発売以来、ご好評をいただいている「テフレーヌ」シリーズに華やかな表紙柄のリングノート「テフレーヌ スタイル」とビジネスマン向けモデル「テフレーヌ ビズ」を発売し、ラインアップ拡大を図りました。また、便箋風のデザインをあしらったふせん「便箋ふせん」や書類をホルダーに入れたまま書き込むことが可能な「カキコホルダー」を発売いたしました。

電子製品におきましては、スマホで操作できる手のひらサイズのラベルプリンター「テプラ」 Lite LR30や、広幅テープや大量印刷に適した「テプラ」の最上位モデル「テプラ」 PRO SR-R7900Pを発売した他、訪日外国人とのコミュニケーションに活用できる翻訳機「ワールドスピーク」に据置型とポータブルタイプの2種を発売いたしました。また、増加していくシニア市場をターゲットとした新商品ブランド「arema」を立ち上げ、シンプルなデザインの「集音器」やテレビの音声が手で聞ける「お手元スピーカー」等を発売いたしました。

オフィス環境改善用品では2017年に発売した扉の向こう側に人がいることを点滅してお知らせする「扉につけるお知らせライト」に無線タイプを追加発売した他、防災用品シリーズについてもラインアップ拡大を図りました。その他、必要な時に必要な分だけ梱包材を作成できるエアクッションメーカー「エアフィット」を発売いたしました。

この結果、電子製品の売上高は前年を超えたものの、ステーションナリーの売上高が主力の厚型ファイルの販売減となったこと等もあり、文具事務用品事業の売上高は 267億3,548万円（前連結会計年度比 0.1%減）、営業利益は、販売費及び一般管理費の増加により 12億1,641万円（前連結会計年度比 10.4%減）となりました。

なお、当社は2020年1月に香川県高松市にある作業用手袋の製造・販売を行っているウインセス(株)および(有)ウインズ（2020年4月1日付で合併。存続会社はウインセス(株)。）の株式を取得し、子会社化いたしました。当社およびウインセス(株)は販売面での補完関係など、相互の経営資源を有効に活用して企業価値を向上させ、事業拡大を目指します。子会社化による2020年6月期の連結財務諸表に与える影響は軽微であり、現時点での重要性が乏しいため、連結の範囲には含めておりません。

・インテリアライフスタイル事業

(株)ぼん家具では、巣ごもり需要やテレワーク需要の増加に応じて、収納用品やデスク・チェア用品を中心に拡販に努めてまいりました。(株)ラドンナでは、ファンやかき氷器、流しそうめん器などの季節商材の投入を積極的に行うと同時に、NEUTRALブランドも立ち上げ、販路拡大に努めました。その他、「Toffy 焼肉プレート」や「Toffy ハンド&ボトルブレンダー」などToffyキッチン家電の拡充を行いました。また、(株)アスカ商会では、オフィスや公共スペースに多用していただけるグリーン商品の拡充を図ると共に、好調な観葉植物のラインアップを強化し、拡販を図ってまいりました。

この結果、(株)ぼん家具の業績に一部持ち直しが見られましたが、主に新型コロナウイルス感染症の影響により、3社共に売上高が前年割れとなったため、売上高は 67億1,978万円（前連結会計年度比 11.1%減）、売上高の低迷が響き、営業損失は 474万円（前連結会計年度は 1,491万円の営業利益）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して 19億1,888万円増加し、280億5,155万円となりました。これは主に、投資有価証券が減少した一方で、現金及び預金や商品及び製品、関係会社株式の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して 13億4,304万円増加し、61億4,118万円となりました。これは主に、短期借入金や支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して 5億7,584万円増加し、219億1,036万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が減少した一方で、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して 10億4,244万円増加し、54億1,066万円（前連結会計年度比 23.9%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ 6億6,604万円増加し、19億8,968万円となりました。これは主に、法人税等の支払額 4億8,877万円やたな卸資産の増加額 2億7,102万円等があった一方、税金等調整前当期純利益 15億3,921万円等や減価償却費 6億4,342万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ 8億5,280万円増加し、13億5,738万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入 4億3,921万円や有形固定資産の売却 2億515万円等による収入があった一方、ウインセス㈱の株式取得に伴う子会社株式の取得による支出 8億3,000万円や有形固定資産の取得による支出 5億3,383万円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、4億5,680万円（前連結会計年度は9億1万円の資金使用）となりました。これは主に、配当金の支払額 3億9,786万円があった一方、運転資金需要による短期借入金の純増額 8億5,000万円等があったことによるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
自己資本比率 (%)	70.3	75.1	79.0	81.3	77.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	84.0	103.5	114.9	92.0	95.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	6.9	0.3	0.1	0.1	0.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	13.2	172.5	180.5	266.0	265.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

※有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気動向や雇用・所得環境の急激な変化を受け、同感染症の収束に向けて消費の段階的な回復が期待されるものの、先行きの不透明感が強まっております。世界経済においても、消費の冷え込みはしばらくの間継続するものと考えられます。

こうした経済環境のなか、当社グループは、「文具事務用品事業」において、「ファイル」や「テプラ」といった基盤事業に加え、「デジタル文具」や「オフィス環境用品」といった成長分野に対し、新たな時代を切り拓く製品の開発に一層尽力してまいります。

「電子製品」においては、クラウドファンディングサービス「Makuake」を活用し、多くの支援者から賛同をいただきましたデジタルノート「フリーノ」を市場に本格導入いたします。また、シニア向けのブランド「arema」の新製品として、日付と曜日が大きく表示される「デジタル日めくりカレンダー」を発売し、新たな顧客層を開拓してまいります。これらの製品に加え、「ステーションナリー」においても新たな発想に基づく製品を上市し、市場の創出・拡大を実現いたします。

また、2020年1月に子会社化した工場用作業手袋を製造・販売するウインセス(株)が次期より連結業績に寄与し、販売や開発面でグループ内の経営資源を相互に活用することでキングジムグループ全体として業績の向上に努めてまいります。

「インテリアライフスタイル事業」においては、世の中のニーズとトレンドに沿った製品を企画・開発し、業績の拡大を目指します。

なお、新型コロナウイルス感染症についても、当社グループはテレワークや時差勤務の推奨、WEB会議の推進等に取り組み、製品開発においては、新しい生活様式に対応した新製品を積極的に市場に投入するように努めてまいります。

上記施策により、次期におきましては、売上高 350億円（前連結会計年度比 4.6%増）、営業利益 12億7,000万円（前連結会計年度比 3.0%増）、経常利益 14億9,000万円（前連結会計年度比 0.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 10億3,000万円（前連結会計年度比 4.8%減）を計画しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の配当政策は、株主への一層の利益還元と機動的な経営施策遂行のための内部留保を総合的に考慮し、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向の基準を40%とし、安定配当することを目指します。

当期における期末配当につきましては、1株当たりの普通配当10円を、2020年9月17日開催の定時株主総会にお諮りする予定であります。なお、当期における中間配当は、1株当たり7円で実施しておりますので、1株当たり17円となる予定であります。

次期の配当につきましては、中間配当7円、期末配当10円の合計17円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移および国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月20日)	当連結会計年度 (2020年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,658,771	5,644,022
受取手形及び売掛金	4,752,922	4,656,058
商品及び製品	5,985,143	6,390,082
仕掛品	371,864	415,739
原材料及び貯蔵品	1,441,439	1,238,769
その他	391,501	459,217
貸倒引当金	△5,076	△4,395
流動資産合計	17,596,567	18,799,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,738,083	5,474,873
減価償却累計額	△3,464,803	△3,329,830
建物及び構築物(純額)	2,273,279	2,145,043
機械装置及び運搬具	2,643,014	2,609,055
減価償却累計額	△2,271,910	△2,314,531
機械装置及び運搬具(純額)	371,104	294,524
土地	1,615,277	1,526,984
建設仮勘定	24,718	43,249
その他	2,787,619	2,991,565
減価償却累計額	△2,542,327	△2,695,681
その他(純額)	245,291	295,883
有形固定資産合計	4,529,671	4,305,685
無形固定資産		
その他	335,504	488,162
無形固定資産合計	335,504	488,162
投資その他の資産		
投資有価証券	2,123,494	1,995,882
関係会社株式	—	830,000
退職給付に係る資産	991,211	1,033,702
繰延税金資産	145,417	151,196
その他	414,610	450,659
貸倒引当金	△3,813	△3,232
投資その他の資産合計	3,670,920	4,458,208
固定資産合計	8,536,097	9,252,056
資産合計	26,132,664	28,051,551

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月20日)	当連結会計年度 (2020年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,745,822	2,214,206
短期借入金	—	850,000
未払法人税等	400,219	379,178
未払金	660,889	700,385
役員賞与引当金	33,796	24,729
その他	837,037	828,466
流動負債合計	3,677,765	4,996,966
固定負債		
繰延税金負債	457,168	437,158
退職給付に係る負債	364,270	420,247
資産除去債務	21,283	21,315
その他	277,657	265,500
固定負債合計	1,120,380	1,144,222
負債合計	4,798,146	6,141,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	2,383,666	2,383,776
利益剰余金	20,506,886	21,190,651
自己株式	△3,567,808	△3,568,021
株主資本合計	21,301,434	21,985,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	522,505	432,086
繰延ヘッジ損益	△2,826	△760
為替換算調整勘定	△409,096	△494,491
退職給付に係る調整累計額	△167,068	△127,205
その他の包括利益累計額合計	△56,485	△190,370
新株予約権	89,569	109,292
非支配株主持分	—	6,343
純資産合計	21,334,518	21,910,363
負債純資産合計	26,132,664	28,051,551

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月21日 至 2019年6月20日)	当連結会計年度 (自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)
売上高	34,329,544	33,455,274
売上原価	21,146,112	20,554,178
売上総利益	13,183,431	12,901,096
販売費及び一般管理費	11,788,389	11,668,499
営業利益	1,395,042	1,232,597
営業外収益		
受取利息	12,249	14,290
受取配当金	52,057	60,237
為替差益	26,758	39,655
受取賃貸料	158,307	154,276
その他	53,734	54,707
営業外収益合計	303,108	323,166
営業外費用		
支払利息	4,928	7,491
賃貸収入原価	47,865	46,694
その他	8,415	12,136
営業外費用合計	61,209	66,323
経常利益	1,636,940	1,489,441
特別利益		
固定資産売却益	752	87,492
特別利益合計	752	87,492
特別損失		
固定資産売却損	—	1,081
固定資産除却損	15,325	14,725
減損損失	67,462	21,913
特別損失合計	82,787	37,720
税金等調整前当期純利益	1,554,905	1,539,213
法人税、住民税及び事業税	489,981	467,402
法人税等調整額	11,746	△10,370
過年度法人税等	74,867	—
法人税等合計	576,596	457,031
当期純利益	978,309	1,082,181
非支配株主に帰属する当期純利益	15,267	502
親会社株主に帰属する当期純利益	963,042	1,081,679

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月21日 至 2019年6月20日)	当連結会計年度 (自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)
当期純利益	978,309	1,082,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△377,265	△90,418
繰延ヘッジ損益	△3,261	2,065
為替換算調整勘定	△31,467	△85,394
退職給付に係る調整額	△26,440	39,863
その他の包括利益合計	△438,434	△133,884
包括利益	539,875	948,297
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	537,518	947,795
非支配株主に係る包括利益	2,356	502

(3) 連結株主資本等変動計算

前連結会計年度(自 2018年6月21日 至 2019年6月20日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益
当期首残高	1,978,690	2,507,159	20,027,025	△3,567,808	20,945,067	899,770	435
当期変動額							
剰余金の配当			△483,181		△483,181		
親会社株主に帰属する当期純利益			963,042		963,042		
連結子会社株式の取得による持分の増減		△123,493			△123,493		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△377,265	△3,261
当期変動額合計	—	△123,493	479,860	—	356,367	△377,265	△3,261
当期末残高	1,978,690	2,383,666	20,506,886	△3,567,808	21,301,434	522,505	△2,826

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	△390,540	△140,628	369,037	70,847	274,150	21,659,102
当期変動額						
剰余金の配当						△483,181
親会社株主に帰属する当期純利益						963,042
連結子会社株式の取得による持分の増減						△123,493
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△18,556	△26,440	△425,523	18,722	△274,150	△680,951
当期変動額合計	△18,556	△26,440	△425,523	18,722	△274,150	△324,584
当期末残高	△409,096	△167,068	△56,485	89,569	—	21,334,518

当連結会計年度(自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益
当期首残高	1,978,690	2,383,666	20,506,886	△3,567,808	21,301,434	522,505	△2,826
当期変動額							
剰余金の配当			△397,914		△397,914		
親会社株主に帰属する当期純利益			1,081,679		1,081,679		
自己株式の取得				△212	△212		
連結子会社株式の売却による持分の増減		109			109		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△90,418	2,065
当期変動額合計	—	109	683,765	△212	683,662	△90,418	2,065
当期末残高	1,978,690	2,383,776	21,190,651	△3,568,021	21,985,097	432,086	△760

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	△409,096	△167,068	△56,485	89,569	—	21,334,518
当期変動額						
剰余金の配当						△397,914
親会社株主に帰属する当期純利益						1,081,679
自己株式の取得						△212
連結子会社株式の売却による持分の増減						109
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△85,394	39,863	△133,884	19,722	6,343	△107,817
当期変動額合計	△85,394	39,863	△133,884	19,722	6,343	575,845
当期末残高	△494,491	△127,205	△190,370	109,292	6,343	21,910,363

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月21日 至 2019年6月20日)	当連結会計年度 (自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,554,905	1,539,213
減価償却費	650,567	643,426
減損損失	67,462	21,913
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,917	△1,241
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	42,467	50,982
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	20,011	25,553
受取利息及び受取配当金	△64,307	△74,527
支払利息	4,928	7,491
為替差損益(△は益)	16,546	△2,552
固定資産除却損	15,325	14,725
固定資産売却損益(△は益)	△752	△86,410
売上債権の増減額(△は増加)	85,311	88,138
たな卸資産の増減額(△は増加)	△414,491	△271,024
その他の資産の増減額(△は増加)	43,286	△105,996
仕入債務の増減額(△は減少)	△237,071	477,194
その他の負債の増減額(△は減少)	△79,138	50,893
その他	34,740	34,068
小計	1,737,873	2,411,848
利息及び配当金の受取額	62,114	72,407
利息の支払額	△4,976	△7,491
法人税等の還付額	56,131	1,694
法人税等の支払額	△527,500	△488,770
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,323,642	1,989,687

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月21日 至 2019年6月20日)	当連結会計年度 (自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△70,085	△232,357
有形固定資産の取得による支出	△381,732	△533,834
有形固定資産の売却による収入	1,702	205,155
差入保証金の差入による支出	△9,315	△22,215
差入保証金の回収による収入	16,991	16,374
保険積立金の積立による支出	△4,400	△4,400
定期預金の預入による支出	△333,200	△382,800
定期預金の払戻による収入	278,804	439,214
子会社株式の取得による支出	—	△830,000
その他	△3,342	△12,523
投資活動によるキャッシュ・フロー	△504,578	△1,357,386
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	850,000
長期借入金の返済による支出	△16,000	—
自己株式の取得による支出	—	△212
配当金の支払額	△483,045	△397,863
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△400,000	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	5,950
その他	△966	△1,070
財務活動によるキャッシュ・フロー	△900,012	456,803
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,151	△46,661
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△98,098	1,042,443
現金及び現金同等物の期首残高	4,466,318	4,368,219
現金及び現金同等物の期末残高	4,368,219	5,410,662

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響が翌連結会計年度中まで続くことを前提に、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関しては不確定要素が多く、翌連結会計年度以降の当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の分配の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社および連結子会社ごとの財務諸表を当社の取締役会に報告しており、これを事業セグメントの構成単位としております。また、各セグメントの製品および販売市場の類似性等を考慮したうえでセグメントを集約しており、当社グループは「文具事務用品事業」と「インテリアライフスタイル事業」の2つを報告セグメントとしております。

「文具事務用品事業」は、主として、当社、P.T.KING JIM INDONESIA、KING JIM (MALAYSIA) SDN. BHD.、錦宮(上海)貿易有限公司、KING JIM (VIETNAM) Co., Ltd.、錦宮(香港)有限公司およびその子会社である錦宮(深圳)商貿有限公司が展開し、ステーションナリー(ファイル、OAサポート用品等)、電子製品(テプラ、ポメラ他)等の製造・販売を行っております。

「インテリアライフスタイル事業」は、主として、(株)ぼん家具、(株)ラドンナ、(株)アスカ商会在展開し、家具、キッチン雑貨、フォトフレーム、アロマ関連商品、時計、アーティフィシャル・フラワー等の企画・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年6月21日 至 2019年6月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,770,131	7,559,412	34,329,544	—	34,329,544
セグメント間の内部売上高 又は振替高	66,832	175,100	241,932	△241,932	—
計	26,836,963	7,734,513	34,571,476	△241,932	34,329,544
セグメント利益	1,356,890	14,918	1,371,808	23,233	1,395,042
セグメント資産	21,185,896	5,161,023	26,346,919	△214,255	26,132,664
その他の項目					
減価償却費	583,451	67,289	650,740	△173	650,567
減損損失	—	67,462	67,462	—	67,462
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	386,405	36,608	423,013	—	423,013

(注) 1. セグメント利益の調整額 23,233千円および、セグメント資産の調整額 △214,255千円はセグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,735,486	6,719,788	33,455,274	—	33,455,274
セグメント間の内部売上高 又は振替高	87,303	244,896	332,200	△332,200	—
計	26,822,790	6,964,684	33,787,475	△332,200	33,455,274
セグメント利益又は損失(△)	1,216,414	△4,744	1,211,670	20,926	1,232,597
セグメント資産	23,059,648	5,518,456	28,578,104	△526,552	28,051,551
その他の項目					
減価償却費	572,996	70,529	643,525	△99	643,426
減損損失	—	21,913	21,913	—	21,913
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	626,230	121,720	747,951	—	747,951

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 20,926千円および、セグメント資産の調整額 △526,552千円はセグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年6月21日 至 2019年6月20日)	当連結会計年度 (自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)
1株当たり純資産額	747.47円	766.82円
1株当たり当期純利益	33.88円	38.06円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	33.75円	37.88円

(注) 1株当たり当期純利益および潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年6月21日 至 2019年6月20日)	当連結会計年度 (自 2019年6月21日 至 2020年6月20日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	963,042	1,081,679
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	963,042	1,081,679
期中平均株式数(株)	28,422,465	28,422,372
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	112,092	136,384
(うち新株予約権)	(112,092)	(136,384)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。